

2024年度(秋学期入学)に出願される方へ

2024年度(秋学期入学)から、Webエントリーサイトをリニューアルし、「出願手続の流れ」が変わります。
本冊子とともに「2024年度(秋学期入学)出願の手引き」もご確認ください。

■ 2024年度(秋学期入学)以降の変更点 ■

1. WebエントリーサイトのURLが変更

2024年度(秋学期入学)に出願するためのWebエントリーサイトURLは、2024年度(春学期入学)以前とは異なりますのでご注意ください。

2. Webエントリーに際してアカウント作成が必要

2024年度(秋学期入学)への出願には「出願用アカウント」の作成(無料)が必要です。

2024 年度

学 生 募 集 要 項

総合情報学研究科

関西大学大学院

I 出願前の確認

出願資格の確認

(各自が志望する入試種別の出願資格を後掲の「募集内容」で確認)

出願資格「あり」

個別の入学資格審査が
不要な場合

出願資格「あり」

出願手続

- (1) Webエントリー
- (2) 入学検定料納入
- (3) 志願票等提出

出願手続完了

- 出願資格の有無について審査の必要がある場合
- 出願資格の有無について判断できない場合

総合情報学部オフィスへ電話連絡・相談

Tel : 072-690-3213

E-mail : k-soujyo@ml.kandai.jp

個別の入学資格審査が
必要な場合

個別の入学資格審査 (申請)

【申請期日】郵送の場合は期日までに必着

○春学期入学

10月募集 : 2023年6月29日(木)

2月募集 : 2023年11月16日(木)

○秋学期入学

7月募集 : 2024年4月18日(木)

【申請書類】

- ・個別の入学資格審査申請書
- ・すべての出願書類 (志願票を除く)

※出願書類の内容は志望する入試種別の「2出願書類」を確認
※出願書類のうち、日本語能力に関する試験の結果待ちの者は、「受験票」の写しを提出してください。

【申請先】郵送または窓口提出

〒569-1095 大阪府高槻市霊仙寺町 2-1-1
関西大学 総合情報学部オフィス

審査結果通知 (電話連絡・通知書送付)

【通知予定日】

○春学期入学

10月募集 : 2023年7月27日(木)

2月募集 : 2023年12月14日(木)

○秋学期入学

7月募集 : 2024年5月9日(木)

出願資格「なし」

・申請書類返却

出願資格の再審査について

以下の場合には個別の入学資格の再審査を経ずに出願を認めます。

ただし、同一研究科への申請かつ、申請者の学歴に変更が生じない場合に限りです。

- (1) 個別の入学資格審査の結果、出願資格を一度認められた者が、同一入学年度内の他の日程に出願する場合
- (2) 外国人研究生として個別の入学資格審査を受け、出願資格を認められた在学生在が、引き続き外国人留学生入学試験を出願する場合

Ⅱ 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

前期課程

総合情報学研究科では、研究者養成ならびに高度な専門知識を有する職業人「情報スペシャリスト」の養成を目的とし、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、次に掲げる知識・技能、思考力・判断力・表現力等の能力及び主体的な態度を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 学士課程またはそれに準ずる課程で専攻した専門分野を中心に専門的な知識・技能を修得している。
- 2 豊かな学識と高度な研究能力を備えた研究者及び高度専門職業人への強い意欲を持っている。
- 3 本学の学是である「学の実化（学理と実際との調和）」に基づいた情報学の理論及び応用の研究の実現を目指し、その成果をもって情報社会の進展に貢献できる力を有している。

後期課程

総合情報学研究科では、急激に発展拡大しつつある情報分野における未踏の領域に挑戦する人材「情報パイオニア」の養成を目的とし、学位授与の方針及び教育課程編成・実施の方針に基づく教育を受けることのできる者として、次に掲げる知識・技能、資質・能力及び態度を備えた入学者を広く受け入れます。

- 1 学士課程及び博士課程前期課程またはそれに準ずる課程で専攻した専門分野を中心に専門的で高度な知識・技能を修得している。
- 2 豊かな学識と未踏の領域に挑戦する研究者への強い意欲を持っている。
- 3 文系や理系という枠組みにとらわれることなく、両分野にまたがる新しい領域を切り拓き、先駆的な研究成果を創生させる研究者としての潜在能力を有している。

Ⅲ 2024 年度入学試験日程および各種手続期間一覧

出願手続は、Web エントリー、入学検定料の納入、出願書類の提出により完了します。Web エントリーのみでは出願したものとして取り扱いません。出願に際しては本冊子に記載の内容を十分に確認して手続きしてください。

【春学期入学】

日程	10月募集		2月募集	
入学定員	【社会情報学専攻】 【知識情報学専攻】 【総合情報学専攻】		前期課程：15名 前期課程：35名 後期課程：8名	
課程	前期課程	後期課程	前期課程	後期課程
入試種別	■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験	■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験	■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験	■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験
Web エントリー期間 入学検定料納入期間 出願書類提出期間	2023年8月18日(金)～9月1日(金)		2023年12月22日(金) ～2024年1月12日(金)	
受験票ダウンロード 開始日	2023年10月2日(月)		2024年2月19日(月)	
試験日	2023年10月7日(土) (予備日)2023年10月14日(土)		2024年2月24日(土) (予備日)2024年2月25日(日)	
合格者発表日	2023年10月13日(金) (予備日)2023年10月27日(金)		2024年3月1日(金)	
入学手続Ⅰ-(1)	2023年10月13日(金)～10月27日(金) (予備日)2023年10月27日(金)～11月10日(金)		2024年3月1日(金)～3月15日(金)	
入学手続Ⅰ-(2) 入学手続Ⅱ	2024年2月16日(金)～3月15日(金)			

※入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

【秋学期入学】

日 程	7 月 募 集	
入学定員	【社会情報学専攻】 前期課程：15 名 【知識情報学専攻】 前期課程：35 名 【総合情報学専攻】 後期課程：8 名	
課 程	前期課程	後期課程
入試種別	■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験 ■社会人入学試験	■一般入学試験 ■外国人留学生入学試験
Web エントリー期間 入学検定料納入期間 出願書類提出期間	2024 年 5 月 16 日(木)～5 月 30 日(木)	
受験票ダウンロード 開始日	2024 年 7 月 1 日(月)	
試験日	2024 年 7 月 6 日(土) (予備日)2024 年 7 月 20 日(土)	
合格者発表日	2024 年 7 月 12 日(金) (予備日)2024 年 7 月 26 日(金)	
入学手続 I -(1)	2024 年 7 月 12 日(金)～7 月 26 日(金) (予備日)2024 年 7 月 26 日(金)～8 月 9 日(金)	
入学手続 I -(2) 入学手続 II	2024 年 8 月 21 日(水)～9 月 4 日(水)	

※入学学期および入試種別ごとの募集人員は設定していません。

【予備日の設定について】

台風接近による暴風警報発令および交通機関運行停止により試験を延期する場合は、上記のとおり予備日に実施します。その場合は、試験当日 7 時に本大学院入試情報サイトに掲載します。

学内進学試験の学生募集要項は関西大学大学院入試情報サイト (https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/) で案内しています。

総合情報学研究科（博士課程前期課程）

募集研究科・専攻および入学定員

研究科	専攻	入学定員
総合情報学研究科	社会情報学専攻	15名
	知識情報学専攻	35名

注 入学学期ごと、入試種別ごとの募集人員は設定していません。

■ 専門社会調査士への道

総合情報学研究科博士課程前期課程は、社会調査協会から「専門社会調査士」科目設置大学院として認定を受けています。

社会調査協会が認定する「専門社会調査士」の資格申請を希望する者は、次の4要件を満たす必要があります。

- ① 社会調査士資格を有すること（専門社会調査士と同時申請可能）
- ② 総合情報学研究科が指定する対象科目の単位を修得すること
- ③ 社会調査結果を用いた研究論文（修士論文を含む）を執筆すること
- ④ 博士課程前期課程を修了すること

詳細については、社会調査協会のウェブサイト（<https://jasr.or.jp>）を参照してください。

M 一般入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

1 出願資格

次の(1)～(10)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(8)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 大学を卒業した者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）
- (9) 大学院に飛び入学した者であって、本大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めた者
- (10) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、本研究科入学までに22歳に達する者

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記(5)の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

日本語以外を母語とする者は、上記の出願資格に加え、「日本語能力試験(JLPT)」N1（2009年度以前：1級）に合格している者、または「日本留学試験(EJU)」で日本語(記述含む)270点以上得点している者

ただし、「日本留学試験(EJU)」については、各日程の出願開始日が、当該発行機関が定める有効期間内に含まれているものに限る

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(9)または(10)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に総合情報学部オフィスにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に総合情報学部オフィスにお問い合わせください。

【重要】

本研究科を受験しようとする者は、出願書類の提出に先立ち、後掲の「2024年度 総合情報学研究科（前期課程）課題研究科目一覧」を参照のうえ、本研究科において勉学を希望する課題研究科目の担当教員のいずれかに、事前に申し出て相談してください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「**出願書類に関する注意事項**」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「**出願書類一覧 (チェックリスト)**」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
志願票 (提出用) 【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書 (原本) を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書 (原本) も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に DD (デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー) プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD 派遣先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書 (書式自由) を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学等の卒業 (見込) 証明書【④】	<p>出願書類③に、卒業 (見込) であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業 (見込) 証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>【出願資格 (2) による志願者は卒業証明書に代えて次の①または②の書類を、出願資格 (6) による志願者は卒業証明書に加えて次の①の書類を提出してください】</p> <p>①学位を授与された者 学位授与証明書</p> <p>②学位取得見込みの者はアおよびイ ア 志願者が在籍する短期大学の専攻科または高等専門学校の専攻科の修了見込証明書 イ 志願者が在籍する短期大学または高等専門学校による志願者が学士の学位授与を申請する予定である旨が記載された証明書 (申請を受理された者は、大学改革支援・学位授与機構の学位授与申請受理証明書)</p>
研究計画書【⑤】	概要 1,000 字程度 本学所定の用紙
在留カードまたはパスポートの写し【⑩】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ (特別永住者を除く。)	<p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>
写真 2 枚	<p>最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票 (提出用) と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。 (志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。)</p>

注 日本語以外を母語とする者は、上記の出願書類に加え、「日本語能力試験 (JLPT)」N1 (2009 年度以前 : 1 級) 合格を証明する『合否結果通知書』もしくは『認定結果及び成績に関する証明書』を提出してください。または「日本留学試験 (EJU)」の「日本語 (記述含む)」を 270 点以上得点したことがわかるオンライン上での『成績確認書』を A4 用紙にプリントアウトしたものを提出してください。

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 試験科目・配点および試験時間

試験科目	配点	試験時間	留意事項
筆記試験 〔専門科目〕	100	10時～11時30分	志望する課題研究科目ごとに出題します。
口頭試問	—	13時～	

専門科目として「英語能力を問う問題」を出題する場合があります。

なお、「英語能力を問う問題」を出題する場合、本学で準備した辞書（『新英和中辞典 第7版』（研究社））の参照を許可します。

M 外国人留学生入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

1 出願資格

次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

(本研究科入学までに、(1)～(4)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

- (1) 外国において通常の課程による16年の学校教育を修了した者（注1）
- (2) 日本において外国人留学生として大学を卒業した者
- (3) 外国の大学その他の外国の学校（注2）において、修業年限が3年以上である課程を修了することにより学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）
- (4) 日本において外国人留学生として専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
- (5) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者。ただし日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

注1 以下の学校に在籍した者は、その期間が通算4年以内である場合に限り、出願資格(1)と同様とみなす。

- ・日本の学校教育法に基づく小学校・中学校・高等学校等
- ・日本にある外国人学校
- ・文部科学大臣が認定又は指定した在外教育施設

注2 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限ります。

出願資格(1)・(3)・(5)で出願する者は、上記の出願資格に加え、「日本語能力試験(JLPT)」N1(2009年度以前：1級)に合格している者、または「日本留学試験(EJU)」で日本語(記述含む)270点以上得点している者
ただし、「日本留学試験(EJU)」については、各日程の出願開始日が、当該発行機関が定める有効期間内に含まれているものに限る

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(5)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に総合情報学部オフィスにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者（見込含む）は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に総合情報学部オフィスにお問い合わせください。

【重要】

本研究科を受験しようとする者は、出願書類の提出に先立ち、後掲の「2024年度 総合情報学研究科（前期課程）課題研究科目一覧」を参照のうえ、本研究科において勉学を希望する課題研究科目の担当教員のいずれかに、事前に申し出て相談してください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「**出願書類に関する注意事項**」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「**出願書類一覧 (チェックリスト)**」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
志願票 (提出用) 【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
日本語による志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書 (原本) を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書 (原本) も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に DD (デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー) プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD 派遣先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書 (書式自由) を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学等の卒業 (見込) 証明書【④】	<p>卒業 (見込) であること、入学年月および卒業 (見込) 年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業 (見込) 証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格 (3) による志願者は、卒業証明書に加えて学位授与証明書を提出してください。</p>
日本語による研究計画書【⑤】	概要 1,000 字程度 本学所定の用紙
在留カードまたはパスポートの写し【⑪】	<p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格、および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>
写真 2 枚	<p>最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票 (提出用) と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。</p> <p>(志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。)</p>
出願資格 (1)・(3)・(5) で出願する者	
日本語能力に関する証明書【⑩】	<p>「日本語能力試験 (JLPT)」の場合 N1 (旧試験 1 級) 合格を証明する『合否結果通知書』または『認定結果及び成績に関する証明書』 ★必ず原本を提出してください。</p> <p>「日本留学試験 (EJU)」の場合 「日本語 (記述含む)」を 270 点以上得点したことがわかるオンライン上での『成績確認書』を A4 用紙にプリントアウトしたもの</p>

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 試験科目・配点および試験時間

試験科目	配点	試験時間	留意事項
筆記試験 〔専門科目〕	100	10時～11時30分	志望する課題研究科目ごとに出題します。
口頭試問	—	13時～	

専門科目として「英語能力を問う問題」を出題する場合があります。

なお、「英語能力を問う問題」を出題する場合、本学で準備した辞書（『新英和中辞典 第7版』（研究社））の参照を許可します。

M 社会人入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

1 出願資格

次の(1)または(2)の条件を満たす者

(1) 次のア～クのいずれかの要件を満たした後、入学時に3年以上経過する者

ア 大学を卒業した者

イ 大学改革支援・学位授与機構（旧大学評価・学位授与機構）により学士の学位を授与された者

ウ 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者

エ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者

オ 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者

カ 外国の大学その他の外国の学校（注1）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（注2）により学士の学位に相当する学位を授与された者（平成28年文部科学省令第19号）

キ 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

ク 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号）

注1 教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限り、

注2 当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって上記オの指定を受けたものにおいて課程を修了することを含みます。

(2) 本大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、本研究科入学までに25歳に達する者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(2)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1 ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

(注1) 修了した課程が16年未満で学士の学位を有する者は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に総合情報学部オフィスにお問い合わせください。

(注2) 外国において、日本の大学卒業に相当する学士の学位を授与された者は出願を認めることがありますので、個別の入学資格審査書類提出期日前のなるべく早い時期に総合情報学部オフィスにお問い合わせください。

【重要】

本研究科を受験しようとする者は、出願書類の提出に先立ち、後掲の「2024年度 総合情報学研究科（前期課程）課題研究科目一覧」を参照のうえ、本研究科において勉学を希望する課題研究科目の担当教員のいずれかに、事前に申し出て相談してください。

2 出願書類

入学検定料 35,000 円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「**出願書類に関する注意事項**」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧 (チェックリスト)」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
志願票 (提出用) 【①】	Web エントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙
出身大学等の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○出身大学に編・転入学した場合は、それ以前の大学等の成績証明書 (原本) も併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学の成績証明書に記載がない場合は、留学先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD (デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー) プログラム等に参加したが、在籍大学の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD 派遣先の大学等の成績証明書 (原本) を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書 (書式自由) を作成し、併せて提出してください。(学校印等は不要)</p>
出身大学等の卒業証明書【④】	<p>出願書類③に、卒業 (見込) であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>卒業 (見込) 証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>注 出願資格(1)-イによる志願者は、卒業証明書に代えて学位授与証明書を提出してください。</p> <p>また出願資格(1)-カによる志願者は、卒業証明書に加えて学位授与証明書を提出してください。</p>
研究計画書【⑤】	概要 1,000 字程度 本学所定の用紙
在留カードまたはパスポートの写し【⑪】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ (特別永住者を除く。)	<p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>
写真 2 枚	<p>最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票 (提出用) と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。</p> <p>(志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。)</p>

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して可否を判定します。

4 試験科目・配点および試験時間

試験科目	配点	試験時間	留意事項
筆記試験 〔専門科目〕	100	10 時～11 時 30 分	志望する課題研究科目について行います。
口頭試問	—	13 時～	

注 授業科目および担任者は変更することがあります。
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 <https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/> (2023年4月現在)

2024年度 総合情報学研究科（前期課程）授業科目および担任者一覧

<社会情報学専攻>

	授 業 科 目	資 格	取 得 学 位	担 任 者
課 題 研 究 科 目	☆ 教育における情報メディア利用			
	★ 情報通信技術（ICT）と新しい教育	教授 教授 准教授	博（教育学）阪大 Ph.D. トロント大	● 黒 上 晴 夫 ● 小 柳 和喜雄 ● 川 島 裕 子
	☆ 情報社会とメディア			
	★ 情報メディアの変容とコミュニケーション	教授 教授	博（人間科学）阪大 博（人間科学）阪大	● 岡 田 朋 之 ● 谷 本 奈 穂 ● 阪 口 祐 介
	★ 情報行動に関する心理学的モデルの構築	教授 教授 准教授	Ph.D. フロリダアトランティック大 博（学術）阪大	● 森 尾 博 昭 ● 古 谷 嘉一郎 ● 西 田 晃 一
	☆ 産業情報システム			
	★ 価値創出と協創ネットワークの形成	教授		● 施 學 昌 *
	★ デジタル社会における価値創造	教授 教授 教授 教授 准教授	博（経済）阪大 博（商）関学大 博（国際協力）東大 博（経営学）神大	● 伊佐田 文 彦 ● 古 賀 広 志 ● 齋 藤 雅 子 ● 徳 山 美津恵 ● 松 本 涉 ● 中 尾 悠利子
	☆ 公共領域における情報			
	★ 公共領域におけるデータベース	教授 教授 教授 教授 教授 教授 准教授 准教授 准教授	博（法）神大 博（工）早大 Ph.D. ハーバート大 博（経済）京大 博（経済学）神大 博（経済）阪大 博（法）京大 博（政治学）神大	● 泉 克 幸 * ● 伊 藤 俊 秀 * ● 地 主 敏 樹 * ● 名 取 良 太 ● 大 堀 秀 一 ● 太 田 勝 憲 ● 中 元 康 裕 ● 池 田 峻 岐 ● 宋 財 法 ● 福 島 力 洋

<知識情報学専攻>

	授 業 科 目	資 格	取 得 学 位	担 任 者
課 題 研 究 科 目	☆ ヒューマンコンピューティング			
	★ 人間共生社会におけるインタラクションの学際的分析と構築	教授 教授 教授 准教授 准教授	博（学際情報）東大 博（情報科学）名大 博（学術）東大 博（工）岡山県立大 博（心理学）九州大	● 研 谷 紀 夫 ● 米 澤 朋 子 ● 植 原 亮 ● 瀬 島 吉 裕 ● 佐々木 恭志郎
	★ インタラクションデザインの理論と実践	教授 教授 教授 准教授	工博（阪大） 博（工）阪大 博（工）金沢大 博（工）名古屋工大	● 堀 雅 洋 ● 松 下 光 範 ● 林 貴 宏 ● 山 西 良 典
	★ デジタルメディア技術とアートによる情報表現	教授 教授 准教授	博（工）名大 博（美術）京都市立芸大	● 林 武 文 ● 井 浦 崇 ● 長 谷 海 平
	☆ インテリジェントコンピューティング			
	★ インテリジェントコンピューティングの応用	教授 教授 教授	博（工）阪大 博（工）関大 博（工）東大	● 竹 中 要 一 ● 田 中 成 典 ● 友 枝 明 保
	★ スマートシステムデザインの数理と応用	教授 教授 教授 教授	博（工）阪大 工博（大阪府立大） 博（工）鳥取大 博（工）京大	● 広 兼 道 幸 * ● 林 勲 二 ● 井 上 真 二 ● 堀 口 由貴男
	★ 社会を変えるモバイルロボティクス	教授 教授	博（工）奈良先端大 博（工）阪大	● 田 頭 茂 明 ● 荻 野 正 樹
	☆ コンピューティングアルゴリズム			
	★ 意思決定支援のためのコンピューティング技法	教授	博（工）阪大	● 浅 野 晃
	☆ 分散コンピューティング			
	★ 通信ネットワーク技術の多元的な研究展開	教授 教授 教授 教授 准教授	博（工）阪大 理博（東北大） 博（工）神大 博（情報科学）阪大	● 堀 井 康 史 ● 今 野 一 宏 ● 桑 門 秀 典 ● 笹 部 昌 弘 ● 小 林 孝 史

注1 ☆印は課題研究分野、★印は課題研究科目を示します。
 注2 ●印は研究指導教員、*印は学生募集を行わない教員を示します。

2024年度 総合情報学研究科（前期課程）課題研究科目一覧

* 印は学生募集を行わない教員を示します。

【社会情報学専攻】

情報通信技術（ICT）と新しい教育（黒上 晴夫、小柳 和喜雄、川島 裕子）

情報通信技術（ICT）の急速な発展により、Society 5.0 と呼ばれる社会が実現しようとしている。その中で、コミュニケーションの仕方や意味が大きく変わり、学習についての捉え方や、学習を支える環境も変革しつつある。これらをふまえて、これからの教育・コミュニケーションのあり方やシステムについて実証的に調査・研究を行う。

1. ICTを基盤とする学習のカリキュラム開発と評価に関する調査・研究
2. グローバル社会におけるコミュニケーション方略と教育に関する調査・研究
3. 学習の意味やメカニズムの変化、学習をうながすシステムについての調査・研究

黒上 (kurokami@kansai-u.ac.jp) 小柳 (oyanagi@kansai-u.ac.jp) 川島 (y_kawa@kansai-u.ac.jp)

情報メディアの変容とコミュニケーション（岡田 朋之、谷本 奈穂、阪口 祐介）

情報メディアの高度化はコミュニケーションや文化のグローバル化をもたらしただけでなく、産業・経済・生活などあらゆる面で大きな変化をうながしている。本プロジェクトでは新たなメディアやコミュニケーション文化の形成の兆しを視野におさめつつ、社会学的観点から以下のような調査・研究を行う。

1. 情報メディア産業の新しい展開
2. 文化、コミュニケーションあるいは社会的行為の様式の変容
3. メディア・イノベーションの現代史的考察

岡田 (okada@kansai-u.ac.jp) 谷本 (tanimoto@kansai-u.ac.jp) 阪口 (yusuke@kansai-u.ac.jp)

情報行動に関する心理学的モデルの構築（森尾 博昭、古谷 嘉一郎、西田 晃一）

我々は社会のなかで様々な情報に囲まれて生活している。本プロジェクトにおいては、情報と人間の心理との関係性に焦点を当て、人が社会のなかでいかなる情報を求めているのか、そして、人はその情報をいかに理解しているのか、また、人は情報を受けとめたことによってどのような影響を受けるのか、さらには、人は他者といかに情報をやりとりしているのかといった問題をとりあげ心理学的な視点から研究を進めていく。

1. 社会的認知に関する心理学的研究
2. 社会的影響に関する心理学的研究
3. 自己認知に関する心理学的研究
4. 対人的コミュニケーションに関する心理学的研究

森尾 (hmorio@kansai-u.ac.jp) 古谷 (kaichiro@kansai-u.ac.jp) 西田 (knishida@kansai-u.ac.jp)

価値創出と協創ネットワークの形成 (*施 學昌)

経済のグローバル化の進展に伴い、経済活動では各国間の相互連動・依存の度合いが益々深まっており、また、ICTの進化とその利活用は企業の事業展開のあり方を根本的に変化させている。本プロジェクトにおいては、新しい価値・事業の創出や産業の高度化を実現するために、経営情報システム論、ネットワーク経営の角度から、ゼロサムを招く「競争」から脱却し、企業や国の壁を越えて情報・知識・技術による「協創ネットワーク」の形成とそのメカニズムに焦点を当て調査・研究を展開する。

施 (shi@res.kutc.kansai-u.ac.jp)

デジタル社会における価値創造

(伊佐田 文彦、古賀 広志、齋藤 雅子、徳山 美津恵、松本 渉、中尾 悠利子)

今日、デジタル化・グローバル化・エコロジカル化などの環境変化や社会構造の変化に直面する現代企業は、データとデジタル技術を活用した組織変革が求められている。本課題研究では、このような変革を「価値創造活動の再編成」として捉え、それを実現していく上での課題を明らかにしていく。このとき、持続的な企業価値向上に資する経営学のさまざまな研究分野をクロスオーバーさせることで、デジタル社会における価値創造の課題を検討していく。

伊佐田 (isada@kansai-u.ac.jp) 古賀 (hiroshi@kansai-u.ac.jp) 齋藤 (msaito@kansai-u.ac.jp)
徳山 (toku_san@kansai-u.ac.jp) 松本 (matsumo@kansai-u.ac.jp) 中尾 (y-nakao@kansai-u.ac.jp)

公共領域におけるデータベース

(泉 克幸、*伊藤 俊秀、地主 敏樹、名取 良太、大堀 秀一、太田 勝憲、中元 康裕、池田 峻、宋 財玠、福島 力洋)

公共的な問題を解決するためには、正確に現状を把握し、適切な方法によって原因を解明することが緊要である。

そこで本研究課題では、政府統計・社会調査データや、白書・法令等の文書情報を活用し、統計分析・シミュレーション・数理分析・質的分析など多様な分析メソッドにより、実態を解明していくことを第一の目的とする。また、散在したり、汎用性が低かったりするデータを収集・加工し、データベースに格納する方法を検討し、実装することを第二の目的とし、これらの目的に沿いながら、社会的諸課題について考えを深めていく。

泉 (izumi@kansai-u.ac.jp) 伊藤 (toshi@kansai-u.ac.jp) 地主 (jinushi@kansai-u.ac.jp)
名取 (t000033@kansai-u.ac.jp) 大堀 (ohori@kansai-u.ac.jp) 太田 (ohta@kansai-u.ac.jp)
中元 (nakamoto@kansai-u.ac.jp) 池田 (s_ikeda@kansai-u.ac.jp) 宋 (song@kansai-u.ac.jp)
福島 (fukusima@kansai-u.ac.jp)

【知識情報学専攻】

人間共生社会におけるインタラクションの学際的分析と構築

(研谷 紀夫、米澤 朋子、植原 亮、瀬島 吉裕、佐々木 恭志郎)

本研究課題では、人間とコンピュータ（あるいはコンピューティングシステム）とのインタラクションについて、認知心理学実験や哲学的・歴史的検討を通じて多角的に基礎研究を行うとともに、実践的なシステム構築を通じて人間とシステム、あるいは人間同士のインタラクションやコミュニケーションのあり方について、メディア科学の立場から理論的研究を行う。これらの研究を通して、社会におけるコンピューティングシステムのありようについて、技術の標準化や倫理観の確立といった文化的側面から検討し、実装につなげるための基礎理論の構築をめざす。

研谷 (ntogiya@kansai-u.ac.jp) 米澤 (yone@kansai-u.ac.jp) 植原 (uehara@kansai-u.ac.jp)
瀬島 (sejima@kansai-u.ac.jp) 佐々木 (k-ssk@kansai-u.ac.jp)

インタラクションデザインの理論と実践 (堀 雅洋、松下 光範、林 貴宏、山西 良典)

本課題研究では、人間とコンピュータとのインタラクション、およびコンピュータを介した人間同士のインタラクションを対象として、知識情報処理の観点からその円滑化と高度化に取り組む。この目標を達成するために、ソフトウェア技術、実世界指向技術、人間中心設計方法論を基盤とする理論構築とその応用・実践を進めていく。個々の学生は、人間の情報処理特性のモデル化、システムやユーザ経験のデザインと評価、いずれかを主なテーマとしつつプロジェクト全体への貢献が求められる。

堀 (horim@kansai-u.ac.jp) 松下 (m_mat@kansai-u.ac.jp) 林 (貴) (t.haya@kansai-u.ac.jp)
山西 (ryama@kansai-u.ac.jp)

デジタルメディア技術とアートによる情報表現 (林 武文、井浦 崇、長谷 海平)

本研究課題は、情報コンテンツにおけるよりよい情報表現の方法を明らかにすることを目的としている。情報の可視化、可聴化、映像やメディアアート作品の制作などデジタルメディア技術とアートによる情報コンテンツの構築および評価を通して、受け手の直感・イメージ・感性などの主観的な情報処理メカニズムの把握と活用方法を明らかにし、それに基づく最適な情報表現について模索する。関連するトピックには、視聴覚情報処理、音楽・映像理論、インスタレーション、ヒューマンコンピュータインタラクション、プロジェクトンマッピング、バーチャルリアリティなどが含まれる。

林 (武) (haya@kansai-u.ac.jp) 井浦 (iura@kansai-u.ac.jp) 長谷 (hase@kansai-u.ac.jp)

インテリジェントコンピューティングの応用 (竹中 要一、田中 成典、友枝 明保)

本研究課題では、インテリジェントコンピューティングの重要な部分を占めるソフトコンピューティングとして、人工知能、機械学習、ニューラルネットワーク、遺伝的アルゴリズム、進化的計算、人工生命、データマイニング、データサイエンス、数理モデリング、数理モデルシミュレーション等の基礎理論を習得し、制御、構造設計、スケジューリング、維持管理、テキストマイニング、渋滞緩和、経路設定、錯視作品創作、遺伝子解析に対する実用システムの開発を試みる。さらに、GIS、GPSの応用、CAD、CG 技術の開発も行い、物理等の自然科学へのインテリジェントコンピューティングの応用についても研究する。

竹中 (takenaka@kansai-u.ac.jp) 田中 (stanaka@kansai-u.ac.jp) 友枝 (tomoeda@kansai-u.ac.jp)

スマートシステムデザインの数理と応用 (広兼 道幸、*林 勲、井上 真二、堀口 由貴男)

インテリジェントコンピューティング技術を基盤として、快適・安全・安心な「スマート社会」を実現するシステムデザインの理論と応用に関する研究を行う。研究対象には、快適さ・楽しさ・しなやかさ・効率性等を高い水準で実現する知的情報処理のためのソフトコンピューティングモデルやAIモデル、システムの信頼性や安全性を評価するための確率・統計モデル、および、これらの実践的応用が含まれる。具体的には、さまざまなセンシングデータから知的な振舞いを生成するための認識・判断・学習・推論プロセスの計算モデル、人の作業を知的に支援する情報デザイン、品質に根ざしたシステム評価等が研究テーマとして挙げられる。

広兼 (hiro Kane@kansai-u.ac.jp) 林 (勲) (ihaya@kansai-u.ac.jp) 井上 (ino@kansai-u.ac.jp)
堀口 (yhorig@kansai-u.ac.jp)

社会を変えるモバイルロボティクス (田頭 茂明、荻野 正樹)

本課題研究では、ロボット技術とモバイルネットワーク技術とを有機的に連携させて、能力強化、並列分散操作、体験共有など、ロボットの自律動作と遠隔操作を組み合わせた新たな価値を創造し、実用可能なモバイルロボットプラットフォームの研究を行う。また、ものづくり・医療分野、サービス分野、防犯・災害対策分野などにおいてモバイルロボットの社会実装を目指し、そこで生じる問題について技術・認知・倫理・経済などの観点から多面的に分析を行う。

田頭 (shige@kansai-u.ac.jp) 荻野 (ogino@kansai-u.ac.jp)

意思決定支援のためのコンピューティング技法 (浅野 晃)

コンピュータを用いて意思決定を支援するためには、人間的要素を考慮した計算機の活用方法を考案する必要がある。例えば、人間の知覚能力や特性を考慮した、選択肢の提示やユーザーインターフェイスなどである。本プロジェクトでは、人間的要素を考慮したコンピューティング技法の開発に取り組む。具体的には、色彩や図形の認知の問題を通じて、人間の知覚能力を考慮した速やかな理解を支援する方法などの研究を行う。

浅野 (a.asano@kansai-u.ac.jp)

通信ネットワーク技術の多元的な研究展開

(堀井 康史、今野 一宏、桑門 秀典、笹部 昌弘、小林 孝史)

コンピュータ、携帯型無線端末、センサー等の多種多様なデバイスが接続されたネットワークにより、我々の生活は、その進展とともに大きく変貌を遂げようとしている。本課題研究では、アプリケーション層から物理層までの様々な観点から通信ネットワーク技術の研究開発を行い、より快適な生活の実現に貢献することを目的とする。具体的な研究内容としては、生体における信号処理システムの工学的視点からの解明、代数曲線に関する基礎研究とその暗号・符号理論への応用、量子アルゴリズムを用いた暗号技術の研究開発、数理的手法(最適化、ゲーム理論、機械学習など)に基づく高度情報ネットワーク、情報ネットワークにおけるセキュリティ問題を解決するシステム開発を行う。

堀井 (horii@kansai-u.ac.jp) 今野 (k.konno@kansai-u.ac.jp) 桑門 (kuwakado@kansai-u.ac.jp)
笹部 (sasabe@kansai-u.ac.jp) 小林 (taka-k@kansai-u.ac.jp)

長期履修学生制度について

総合情報学研究科では、大学院入学者の多様なニーズに対応し、教育研究の機会を拡充するため、従来の博士課程前期課程における2年コースの他に修業年限を3年とし、授業科目を計画的に履修する「3年コース」を実施しています。この制度の特徴は下記のとおりです。

(1) 履修制限単位

本制度により入学する者には、履修制限単位数を変更します。

コース	1年次	2年次	3年次
2年コース	28	28	—
3年コース	20	20	16

(2) 3年コースにおける授業科目の配当年次

総合情報学研究科	修士論文の研究指導科目である論文指導を3年次配当とし、修士論文提出は3年次とします。
----------	--

(3) 在学期間の途中変更

2年次に進む段階で、各研究科において定められた次の条件を満たす場合は、願い出により、3年コースから2年コースへ変更することができます。その場合、2年次の履修制限単位数は28単位とします。

なお、対象者には1年次の秋学期にインフォメーションシステムにてお知らせします。

ただし、2年コースから3年コースへの変更はできません。

総合情報学研究科	1年次終了時に修士論文の提出要件である16単位を修得していること
----------	----------------------------------

(4) 在学年限

在学年限は2年コース、3年コースとも4年です。

(5) 修了要件

修了要件は2年コース、3年コースともに同じです。3年コースでは、2年コースと同じ修了要件を3年かけて履修します。詳細は入学時に配付される「大学院要覧」を参照してください。

(6) 学費

学費については、41～42ページの「8 2024年度 学費・諸費」を参照してください。

なお、在学期間を途中で変更する場合は、3年次に納入する授業料を合わせて、2年次に納入することが必要となります。（正確な納入金額については、手続き時にご確認ください。）

長期履修学生制度により3年コースを希望する場合は、Webエントリーの際に「長期履修学生制度」欄で「3年コース」を選択してください。どちらのコースを選択しても合否判定には関係ありません。

なお、合格後に選択したコースの変更を希望する場合は、春学期入学：2024年1月12日（金）まで、秋学期入学：2024年7月26日（金）までに、大学院入試グループまでその旨をご連絡ください。

また、2月募集の合格者は、入学前にコース変更を申し出ることはできませんのでご注意ください。

総合情報学研究科（博士課程後期課程）

募集研究科・専攻および入学定員

研 究 科	専 攻	入学定員
総合情報学研究科	総合情報学専攻	8名

注 入学学期ごと、入試種別ごとの募集人員は設定していません。

D 一般入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

1 出願資格

次の(1)～(7)のいずれかの条件を満たす者

（本研究科入学までに、(1)～(5)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む）

- (1) 修士の学位または専門職学位を有する者
- (2) 外国において修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位または専門職学位に相当する学位を授与された者
- (5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 本大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位または専門職学位を有する者と同等以上の学力を有すると認められた者で、本研究科入学までに24歳に達する者

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(6)または(7)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

【重要】

本研究科を受験しようとする者は、出願書類の提出に先立ち、後掲の「2024年度 総合情報学研究科（後期課程）授業科目および担任者一覧」を参照のうえ、本研究科において勉学を希望する研究領域の担当教員のいずれかに、事前に申し出て相談してください。

2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
志願票（提出用）【①】	Webエントリー完了後に印刷したものを提出してください。
志望理由書【②】	本学所定の用紙

出身大学院の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>
出身大学院の修了（見込）証明書【④】	<p>出願書類③に、修了（見込）であることが記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>修了（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>
研究計画書【⑤】	概要 1,000 字程度 本学所定の用紙
在留カードまたはパスポートの写し【⑪】 ★日本国以外の国籍を有する者のみ （特別永住者を除く。）	<p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>
写真 2 枚	<p>最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）</p>
出願資格(1)～(5)で出願する者のうち、 〔春学期入学〕2024年3月および〔秋学期入学〕2024年9月修了見込の者	
修士論文として提出予定の論文の概要【⑥】※	<p>2,000 字程度 3 部</p> <p>パソコン等で A4 用紙（横書き 40 字×40 行）を使用して作成してください。</p> <p>本研究科前期課程を修了見込みの者は提出不要です。</p>
出願資格(1)～(5)で出願する者のうち、すでに修士の学位を有する者	
修士論文の概要【⑥】	<p>2,000 字程度 3 部</p> <p>パソコン等で A4 用紙（横書き 40 字×40 行）を使用して作成してください。</p>
修士論文の写し【⑦】	3 部
出願資格(6)または(7)で出願する者および 専門職学位を有する者（または取得見込みの者）で修士論文を作成していない場合	
研究業績報告書【⑧】	<p>研究業績または業務内容の概要</p> <p>2,000 字程度 3 部</p>
研究業績【⑨】	<p>学術論文、学会発表、研究報告書の抜刷またはその写し</p> <p>各 3 部</p>

※ 本研究科前期課程在籍者以外の者で、2024年3月修了見込みの者が2月募集（春学期入学）に出願する場合、「修士論文の概要【⑥】」に限り、2024年1月16日（火）まで提出を認めます。それ以外の出願書類は、必ず出願書類提出期間に提出してください。ただし、2024年1月16日（火）時点においても修士論文の概要を提出できない場合は、出願書類提出期間に「修士論文として提出予定の論文の概要【⑥】」を提出してください。

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 試験科目・配点および試験時間

試験科目		配点	試験時間	留意事項
筆記試験	専門科目	100	10時～11時30分	志望する研究領域について行います。
	英語	100	13時～14時30分	本学で準備した辞書（『新英和中辞典第7版』（研究社））の参照を許可します。
口頭試問		—	15時～	

D 外国人留学生入学試験（春学期入学：10月募集・2月募集/秋学期入学：7月募集）

1 出願資格

次の(1)～(5)のいずれかの条件を満たす者

(本研究科入学までに、(1)～(3)のいずれかの条件を満たす見込みの者を含む)

- (1) 外国の大学院において修士の学位または専門職学位に相当する学位を得た者
- (2) 日本の大学院において外国人留学生として修士の学位または専門職学位を得た者
- (3) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法第一条第二項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
- (4) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (5) その他、本大学院において、修士の学位を有する者と同等以上の学力を有すると認めた者で、本研究科入学までに24歳に達する者。ただし、日本において通常の課程による学校教育を受けたと認定した外国人を除く。

(1)、(4)、(5)で出願する者は、上記の出願資格に加え、「日本語能力試験(JLPT)」N1(2009年度以前：1級)に合格している者、または「日本留学試験(EJU)」で日本語(記述含む)270点以上得点している者

ただし、「日本留学試験(EJU)」については、各日程の出願開始日が、当該発行機関が定める有効期間内に含まれているものに限る

【重要】個別の入学資格審査に関する注意事項

1. 対象者

出願資格(4)または(5)に該当する志願者

2. 手続方法・申請期日

1ページの「I 出願前の確認」を参照のうえ、手続きをしてください。

【重要】

本研究科を受験しようとする者は、出願書類の提出に先立ち、後掲の「2024年度 総合情報学研究科（後期課程）授業科目および担任者一覧」を参照のうえ、本研究科において勉学を希望する研究領域の担当教員のいずれかに、事前に申し出て相談してください。

2 出願書類

入学検定料35,000円を納入後、次の書類を一括して提出してください。

提出にあたっては、巻末の「出願書類に関する注意事項」をあらかじめ熟読のうえ間違いのないように提出してください。

また、「出願書類一覧（チェックリスト）」も出願書類と併せて提出すること。

出願書類【書類番号】	備考
全ての志願者が提出する書類	
志願票（提出用）【①】	Webエントリー完了後に印刷したものを提出してください。
日本語による志望理由書【②】	本学所定の用紙

出身大学院の成績証明書【③】	<p>成績証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p> <p>○現在在学中の場合は、出願時点で最新の成績証明書（原本）を提出してください。</p> <p>○在籍期間中に留学し単位認定が済んでいるものの在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または留学後の単位認定が済んでいない場合は、留学先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>○在籍期間中にDD（デュアル・ディグリー / ダブル・ディグリー）プログラム等に参加したが、在籍大学院の成績証明書に記載がない場合、または一括での単位認定となっている場合は、DD派遣先の大学院等の成績証明書（原本）を、併せて提出してください。</p> <p>注1 証明書が複数ページに渡る場合には、すべてのページに学校印又は発行責任者の署名が必要です。</p> <p>注2 在籍期間中に科目履修を行わなかった場合や、留学等により成績証明書に空白の期間がある場合は、志願者自身で当該期間の理由書（書式自由）を作成し、併せて提出してください。（学校印等は不要）</p>
出身大学院の修了（見込）証明書【④】	<p>修了（見込）であること、入学年月および修了（見込）年月が記載されていること。</p> <p>ただし、出願書類③に上記内容が記載されている場合は、提出不要です。</p> <p>修了（見込）証明書は原本を提出してください。原本を提出できない場合は、大使館等の公的機関で証明を受けた公証書を提出してください。</p>
日本語による研究計画書【⑤】	概要 1,000 程度 本学所定の用紙
在留カードまたはパスポートの写し【⑩】	<p>在留カードの場合は両面をコピーしてください。</p> <p>パスポートの場合は氏名、生年月日、写真、有効期限、在留資格、および最新の在留期間が記載されている部分をコピーしてください。</p>
写真 2 枚	<p>最近 3 カ月以内に撮影されたものを志願票（提出用）と志望理由書にそれぞれ貼付してください。なお、修整・加工したものは不可。</p> <p>（志願票に貼付された写真は、入学後交付する「学生証」に使用します。）</p>
出願資格(1)、(4)、(5)で出願する者	
日本語能力に関する証明書【⑩】	<p>「日本語能力試験(JLPT)」の場合 N1(旧試験 1 級)合格を証明する『合否結果通知書』または『認定結果及び成績に関する証明書』 ★必ず原本を提出してください。</p> <p>「日本留学試験(EJU)」の場合 「日本語（記述含む）」を 270 点以上得点したことがわかるオンライン上での『成績確認書』を A4 用紙にプリントアウトしたもの</p>

3 選考方法

書類選考、筆記試験および口頭試問の結果を総合して合否を判定します。

4 試験科目・試験時間および配点

試験科目		配点	試験時間	留意事項
筆記試験	専門科目	100	10 時～11 時 30 分	志望する研究領域について行います。
	英語	100	13 時～14 時 30 分	本学で準備した辞書（『新英和中辞典 第 7 版』（研究社））の参照を許可します。
口頭試問		—	15 時～	

注 授業科目および担任者は変更することがあります。
 変更が生じた場合は、本大学院入試情報サイトでお知らせしますので、出願前にご確認ください。
 <https://www.kansai-u.ac.jp/Gr_sch/> (2023年4月現在)

2024年度 総合情報学研究科（後期課程）授業科目および担任者一覧

総合情報学専攻

授 業 科 目		資 格	取 得 学 位	担 任 者	
★ 高度情報システム					
無線情報通信のためのマイクロ波デバイス特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(工)阪大	● 堀井康史	
情報セキュリティ技術とその安全性評価特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(工)神大	● 桑門秀典	
モバイル情報通信システム特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(工)奈良先端大	● 田頭茂明	
高度情報ネットワークング特殊研究	講義A 講義B	教授	博(情報科学)阪大	笹部昌弘	
★ 応用ソフトコンピューティング					
脳知能情報システム特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	工博(大阪府立大)	● 林 勲	
ソフトコンピューティングの実践的応用特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(工)関大	● 田中成典	
ソフトコンピューティングの視覚情報処理特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(工)阪大	● 浅野 晃	
ソフトコンピューティングのセンシング応用特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(工)広大	● 広兼道幸	
ソフトコンピューティングの地球科学的応用特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(工)早大	● 伊藤俊秀	
現象数理学特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(工)東大	● 友枝明保	
医学生物学情報解析特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(工)阪大	● 竹中要一	
信頼性・保全性数理特殊研究	講義A 講義B	教授	博(工)鳥取大	井上真二	
知的システムデザイン特殊研究	講義A 講義B	教授	博(工)京大	堀口由貴男	
★ 認知情報処理					
ユーザ中心デザイン特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	工博(阪大)	● 堀 雅洋	
視覚認知情報処理モデル特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(工)名大	● 林 武文	
インタラクションデザイン特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(工)阪大	● 松下光範	
視覚資料論特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(学際情報)東大	● 研谷紀夫	
人間情報科学特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(工)金沢大	● 林 貴宏	
仮想コミュニケーションメディア科学特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(情報科学)名大	● 米澤朋子	
科学技術基礎論特殊研究	講義A 講義B	教授	博(学術)東大	植原 亮	
コンテンツ指向計算機科学特殊研究	講義A 講義B	准教授	博(工)名古屋工大	山西良典	
★ 意思決定システム					
意思決定支援	代数幾何学特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	理博(東北大)	● 今野一宏
	ナレッジマネジメント論特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授		● 古賀広志
	経営情報論特殊研究	講義A 講義B	教授		施 學晶
	調査方法論特殊研究	講義A 講義B	教授	博(国際協力)東大	松本 涉
社会的意思決定	国際経営戦略論特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(経済)阪大	● 伊佐田文彦
	企業会計特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(商)関学大	● 齋藤雅子
	金融政策特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	Ph.D. ハーバード大	● 地主敏樹
	環境経済学特殊研究	講義A 講義B	教授	博(経済)京大	大堀 秀一
	政治過程論特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授		● 名取良太
知的財産法特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(法)神大	● 泉 克幸	
★ マルチモーダルコミュニケーション					
学習環境デザイン	メディアミックスによる教育方法特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授		● 黒上晴夫
	情報教育実践論特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(教育学)広島大	● 小柳和喜雄
コミュニケーション環境学	インターネット心理学特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	Ph.D. フロリダアトランティック大	● 森尾博昭
	文化社会学特殊研究	講義A 演習1 講義B 演習2 演習3	教授	博(人間科学)阪大	● 谷本奈穂
	メディア・コミュニケーション論特殊研究	講義A 講義B	教授		岡田朋之

注1 ★印は研究領域を示します。
 注2 出願の際は、5つの★印から1つを選択し、出願書類の「志望研究領域」欄に記入してください。
 注3 ●印は研究指導教員、*印は学生募集を行わない教員を示します。